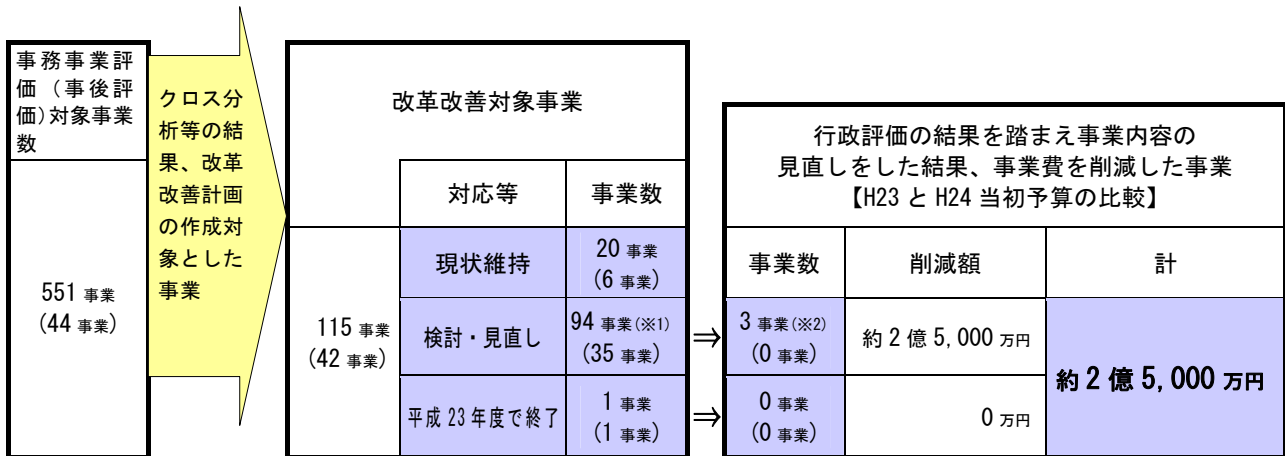


# 平成 23 年度行政評価の実施による効果と今後の課題等【概要】

## I 行政評価の実施による効果（1～2 頁参照）



※（ ）内：平成 23 年度外部評価対象事業

※ 改革改善対象事業には、法令の改廃や事業終期の到来等に伴う事業費の当然減によるものは含まない。

※ 効果の算定対象には、事業の見直しによる人件費の削減分は含まない。

※1 検討・見直し（94 事業）の例（詳細は報告書の巻末参考資料参照）

- ・ 家庭保育室事業における児童の受入体制の充実
- ・ 児童館コスモス運営事業における参加費徴収による科学体験教室等の充実
- ・ 学校応援団推進事業における学校応援コーディネーター及び図書ボランティアの育成体制の充実 等

※2 行政評価の結果を踏まえ事業内容の見直しをした結果、事業費を削減した事業（3 事業）

- ・ 保険事務管理事業における事業内容の見直しによる削減
- ・ 児童館ヒマワリ運営事業における契約等の見直しによる削減
- ・ 公共下水道会計繰出金事業における使用料改定による削減

## II 今後の課題（3～5 頁参照）

項目	課題の概要
1 評価の質的向上について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内部評価の客観性の向上</li> <li>・ 市民へのわかりやすい説明の推進</li> </ul>
2 外部評価について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部評価の今後のあり方等</li> </ul>
3 評価後の取組について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価結果を踏まえた改革改善の徹底</li> </ul>

※ ○頁：報告書「平成 23 年度行政評価の実施による効果と今後の課題等」における頁数